



■ 使用客船  
 オーシャンドリーム号  
 (35,265トン)  
 全幅 26.5m 全長 205m  
 喫水 7.5m  
 乗客定員 1,422 人

■ 私も乗りました



アイリーン・  
美緒子・スミス  
グリーン・  
アクション代表



開沼博  
社会学者



鎌田慧  
ルポライター



後藤政志  
元東芝・原子カプ  
ラント設計技術者



下村健一  
前内閣広報室審議官  
元 TBS 報道キャスター



田中優  
環境活動家



古市憲寿  
社会学者



宮台真司  
社会学者

■ 航海スケジュール

- 12月1日 博多出航
- 12月2日 釜山(韓国)
- 12月4日 那覇(沖縄)
- 12月7日 敦賀
- 12月9日 博多帰航



## 次世代に「脱原発社会」を引き継ぐために——

3.11以降、エネルギーに対する見方は大きく変わりました。原発の「安全神話」は崩れ去り、その被害の大きさと深刻さを目の当たりにしました。

「PEACE&GREEN BOAT 2012」は、韓国の人々と共に原発立地地域でもある釜山・敦賀・博多(佐賀・玄海原発)を訪れます。また、米軍基地が集中する沖縄では、原発に共通する課題として、日本政府と地方の関係について語り合います。

「脱原発社会」を実現するために、韓国の人々と共に学び、つながる。

——2012年12月、原発のない未来へ船出します。

■ 寄港地での交流プログラム

● 博多(日本)

- ・炭鉱節の街、田川にて知る悲しい歴史
- ・ナガサキで日韓平和大交流会！
- ・九州電力最大の発電所、玄海原発を訪れる
- ・世界が目にする節電の街、スマートコミュニティー見学

● 釜山(韓国)

- ・古里原発を通して考える韓国エネルギー事情
- ・韓国で聞くヒロシマ・ナガサキの証言

● 那覇(沖縄)

- ・普天間基地から見える日本「本土」の姿
- ・市民がとめる辺野古の米軍基地建設
- ・「捨て石」作戦としての沖縄戦 南部戦跡めぐり
- ・沖縄のいまむかしを読谷村で知る
- ・自然エネルギー社会への道筋

● 敦賀(日本)

- ・立地地域で考える「原発」
- ・地元の人とゆく地域興しとB級グルメ体験
- ・原発と向き合う
- ・ブチ農業体験と交流会